

## 令和4年度 財務省定員要求の概要

- 内閣人事局による定員要求基準に沿って、
- ① 新たな行政需要に対応するため、1,754人を増員要求<sup>(注)時限定員を含む</sup>
  - ② 既存の業務を厳しく見直すこと等により、▲1,433人を減員
- ⇒ ③ 差引+321人を要求

### 【①～③の内訳】

**本省** ①増員18人、②減員▲2人 ⇒ ③差引+16人

- グリーン化等の構造変化への対応のための体制強化
- 中央銀行デジタル通貨の検討のための体制強化 等

**財務局** ①増員122人、②減員▲98人 ⇒ ③差引+24人

- 相続等により取得した土地所有権の国庫帰属に関する対応
- マネロン・テロ資金供与対策のための検査・監督上の対応 等

※ この他、本省及び財務局における経済安全保障関係（外為法の投資審査・事後モニタリングの強化等）は、事項要求。

**税関** ①増員405人、②減員▲192人 ⇒ ③差引+213人

- 訪日外国人旅行者に対する円滑な通関体制の実現
- テロ対策等の水際取締の強化 等

**国税庁** ①増員1,209人、②減員▲1,141人 ⇒ ③差引+68人

- 消費税の軽減税率制度の実施や不正還付への対応
- 国際的な租税回避への対応 等

(参考) 財務省定員 72,568人 (令和3年度末)

本省：1,973人

財務局：4,670人

税関：9,971人

国税庁：55,954人